



(公財)水道技術研究センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1
虎ノ門電気ビル2F
TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215
E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

ドナウ流域の上下水道サービス（その6） －チェコ共和国（Czech Republic）－

(出典) Czech Republic Country Note

http://sos.danubis.org/files/File/country_notes_pdf/SoS_Czech.pdf

(参考) チェコ共和国の概要

1. 面積：78,866 平方キロメートル（日本の約5分の1）
2. 人口：1,054 万人（2014年12月末現在）
3. 首都：プラハ（人口126万人／2014年12月末現在）

(出典) 外務省 HP

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/czech/data.html#section1>



1. 上下水道サービスの組織及び主体

市町村は資産の所有者として、公共水サービスについて責任がある。下図は、タイプ別及び市場シェア別での水サービス提供事業者を示したものである。最多の運営モデルは、長期運営契約に基づく民間コンセッション（人口の46%）の形態である。官民資本事業体（人口の27%に対してサービスを提供）は、インフラを運営・所有する事業体を意味する。ドナウ流域のその他の国々と同様に、市町村は事業体の株主であり、人口の10%に対してサービスを提供している。村落運営体は、人口の11%に対してサービスを提供しており、人口の約6%は自己所有井戸などの水源に依存している。事業体の

95%超は、上下水道サービスの両方を提供している。民間セクターは、Veolia（フランス）、Suez Environment（フランス）、Aqualia（スペイン）及びEnergie AG（オーストリア）などの多国籍グループによって代表される。しかし、スペインや日本の株主も同様に官民混合モデルに参加し、インフラを運営・所有している（専門家の推定）。

[チェコ共和国の上下水道サービスの組織及び主体]

水サービス提供事業者数：2,438 事業者（2013 年、出典：専門家の推計）

1 事業者当たり平均給水人口：4,057 人（2013 年、出典：筆者の推計）

サービス提供事業者の主なタイプ：民間へのコンセッション

サービスの範囲：上水道及び/下水道

所有者：市町村

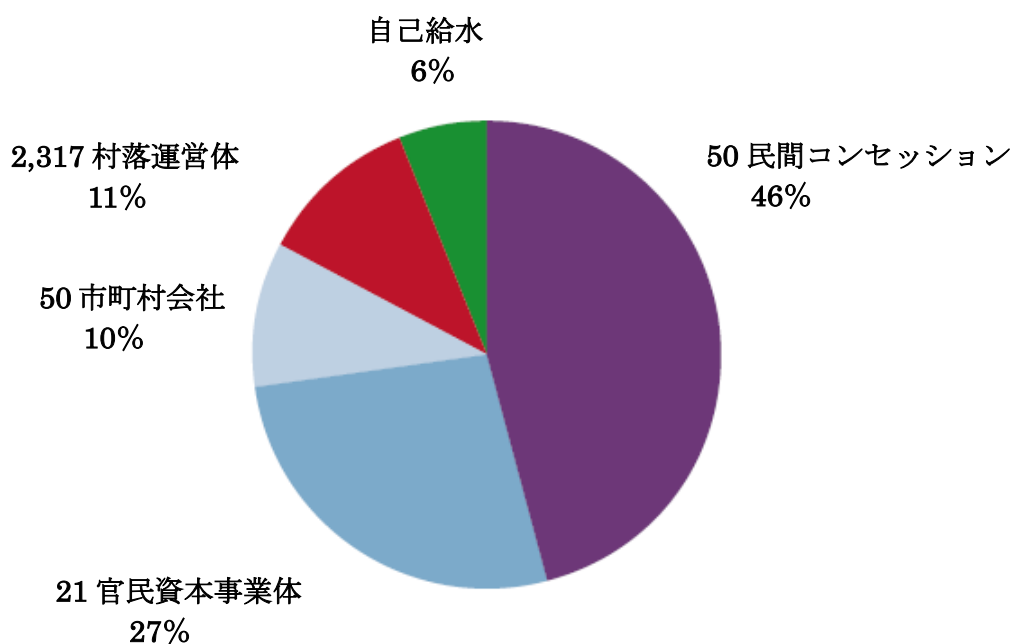
地理的な範囲：都市/広域

水サービスに関する法令：有

規制機関：無

全国上下水道協会：有（チェコ共和国上下水道協会（SOVAK CR））

図 水サービス提供事業者のタイプ及び割合



出典：専門家の推計

2. 上下水道インフラの現状

上下水道の資産はかなりの投資のおかげで良好な状態にあるが、老朽化しているインフラは近い将来対処しなければならない。運営状態は、事業者によって提供されているサービスの信頼性及び質に関しては十分であると考えられる。しかし、過去 10 年間において行われた大規模な投資支出にも関わらず、更新率は持続可能なものではない。インフラの所有者は、環境上及び飲料水の基準に適合するためかなりの金額を投資している。水消費の減少によって、過大となっている施設もある。資産の老朽化は、1970 年代から 1980 年代に建設されたインフラにとって課題となりつつある。

浄水施設数：2,231 施設（2013 年、出典：MZe 2014）
下水処理施設数：2,674 施設（2013 年、出典：MZe 2014）
水道管路延長：75,481km（2013 年、出典：MZe 2014）
下水管路延長：43,618km（2013 年、出典：MZe 2014）

3. 上下水道サービスの業務水準

チェコ共和国のサービスの質は、一般に非常に良好である。水道は、適切な水圧をもって、1日24時間連続給水されている（IBNet 2015）。下水の収集及び処理についても同様である。飲料水水質は、国内及び欧州基準に十分に適合している。2012年において、水のサンプルで許容限度値を超過したものはなかった。

[上水道サービスの質]

家庭用1人1日水消費量：87ℓ（2013年、出典：CZSO 2015）
1日の給水時間：24時間（2013年、出典：IBNet 2015）
飲料水サンプルの基準適合率：99.8%（2013年、出典：SZU 2014）

4. 上下水道サービスの効率性

チェコ共和国の上下水道事業体の効率性は比較的高く、最新の技術、手順、設備、業務の適用及びインフラへのかなりの投資に基づいている。チェコの大規模事業体への国際的な運営事業者の関与が、上下水道セクターの全般的な改善に繋がっているといえる。全般的な効率性は、大規模な事業体ほどより高く、地理的及び物理的条件から生じる地域的な差もある。

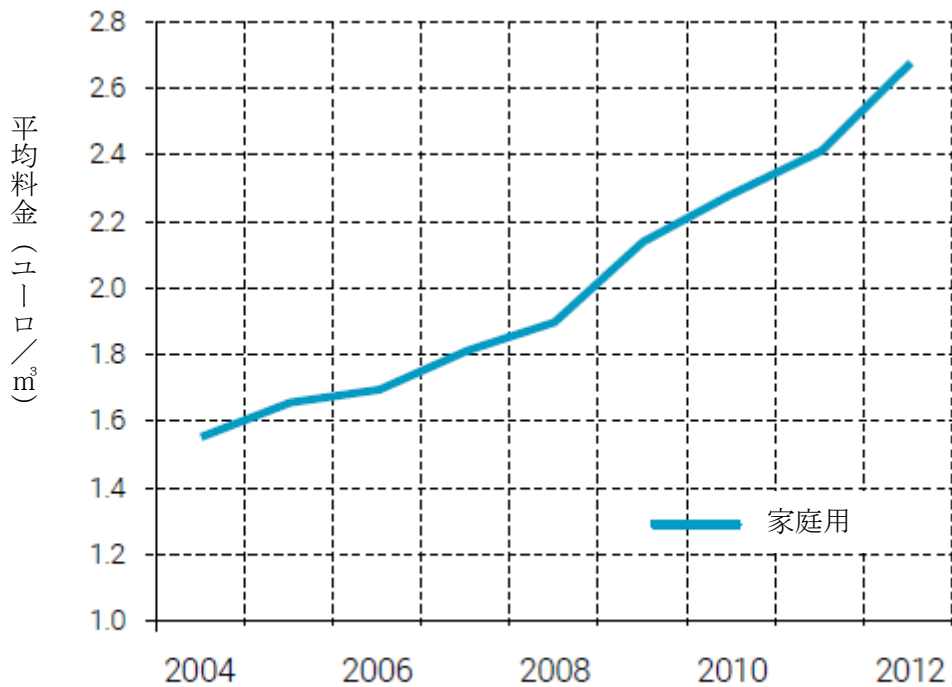
[サービスの効率性]

無収水率：22%（2012年、出典：CZSO 2015）

5. 上下水道料金

20年以上にわたり、料金は実質ベースで徐々に連続的に上昇しており、国内の平均上下水道料金は2.50ユーロ/m³を超えている（MZe 2014）。料金には地域差があり、最も高い料金は既に3.6ユーロ/m³を超えている（MZe 2014）。現在の料金水準は、過去20年にわたって行われた2,000を超える新たな下水処理場の建設や環境上の基準に適合するための新たな下水管の布設という大規模な投資に対する支払いに起因している（専門家の推計）。上下水道セクターの高い固定費や水消費の減少も、高料金の原因である。既存施設の更新に対して注意が向けられているので、今後数年間にわたって、料金は上昇し続けることが予想される。

図 上下水道料金の推移



(出典) MZE2014 及び筆者の推計

(文責) センター専務理事

安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h28.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。

なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。